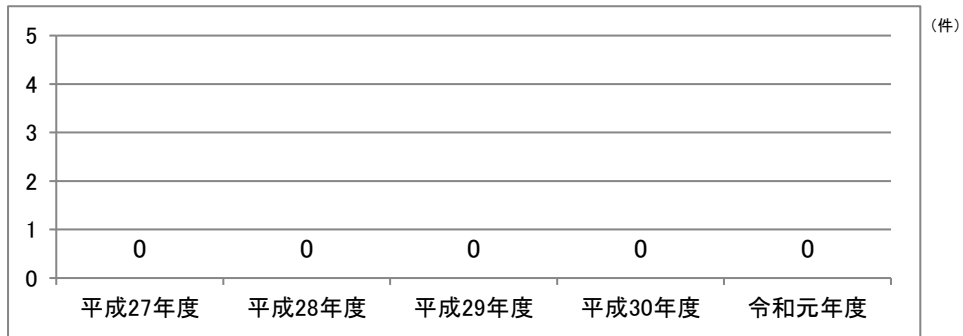


24 多剤耐性緑膿菌(MDRP)による院内感染症発生患者数

○項目の解説

免疫力の低下した患者が多剤耐性緑膿菌(MDRP)に感染すると、難治性の感染症を引き起こし死に至る場合があります。病院内の手洗いを励行するなど、適切な院内感染予防対策の実施により、発症頻度を低減することが可能です。当該指標は、院内感染予防対策の実施とその効果を示す指標です。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

平成30年度0に引き続き、令和元年度(2019/04/01-2020/03/31)についても多剤耐性緑膿菌(MDRP)、多剤耐性アシネトバクター(MDRA)の検出はありません。

○定義

当該年度1年間の新規MDRP発生患者数です。

保菌者による持ち込み感染は除き、入院3日目以降に発生したものを計上します。

○算式

実数